

長戸川の生き物と水環境

1 長戸川の概要

長戸川は、尾張旭市の滝ノ水池を源とし、庄内川へと合流する延長約2.1kmの河川です。合流点から約1.2kmは一級河川として、残り約0.9kmは準用河川として指定されています。

流域のうち、滝ノ水池周辺は市街化調整区域に指定されており、森林公園として緑地が保全されています。一方で、中・下流域では土地区画整理事業が進められており、市街化が進行しています。



天王橋付近



長戸橋付近



2 長戸川の生き物

長戸川では、2021年度に調査を行った結果、計10種の魚類が見つかりました。

ドジョウやカワムツなどの貴重な生き物が確認されています。

オオクチバスなどの特定外来生物が確認されており、生態系への影響が懸念されます。

- ★：名古屋市の絶滅危惧種
- ▲：特定外来生物
- ：魚が確認された区間

魚種	天王橋より下流	天王橋より上流
★ドジョウ, フナ属, オイカワ, ヨシノボリ属, ▲オオクチバス	■	■
★カワムツ, ★ナマズ, コイ, ▲カダヤシ, ▲ブルーギル	■	
種類数	10	5



★ドジョウ



★カワムツ



オス



メス

オイカワ



コイ



フナ属



▲ブルーギル



▲オオクチバス

3 長戸川の水質

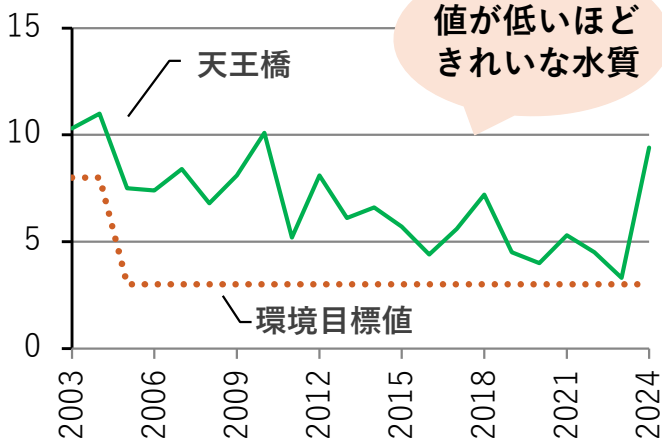
長戸川の流域では、市街化区域において土地区画整理事業が進められており、宅地化が進行しています。

宅地化の進展にあわせて、下水道の整備が順次進められたことにより、下水道が順次整備されてきたこともあり、大きな水質の変化は見られていません。

「天王橋地点」では、DOは継続して環境目標値を達成しています。一方で、BODは、環境目標値である3.0mg/Lを満たしていません。長戸川流域では下水道が整備途上であり、BODが高くなっていると考えられます。

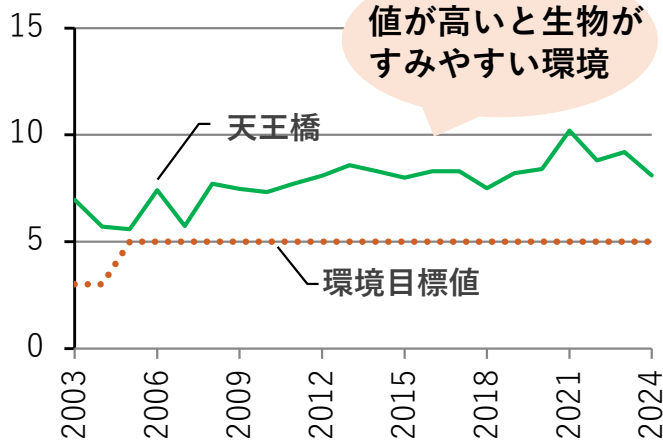
◆ 水質 (BOD,DO) の経年変化

BOD 75%値 (mg/L)



環境目標値
(1974年～)8mg/L以下, (2005年～)3mg/L以下

DO 平均値 (mg/L)



環境目標値
(1974年～)3mg/L以上, (2005年～)5mg/L以上

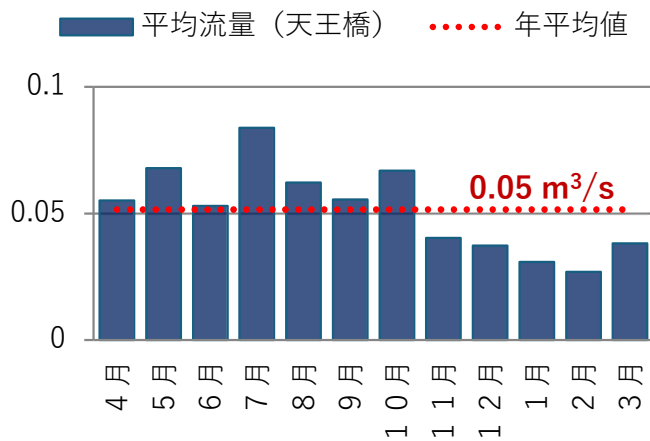
4 長戸川の流量

長戸川の主な水源は雨水です。

かつては生活排水も流入していましたが、下水道が整備された区域の生活排水は守山水処理センターで処理されたうえで庄内川へ放流されるようになりました。

このため、下水道整備の進展に伴って、長戸川の流量は減少する傾向にあります。

◆ 月別平均流量 (m³/s)



(2015年度～2024年度)